

セミナータイトル:

環境微生物の分析・評価方法の最新情報ー リアルタイム測定からDNA解析まで ー

最近、生命体にレーザー光線の照射時に発する蛍光などを検知することで、空気中に浮遊する微生物(細菌・真菌)を瞬時に連続的に検出する「リアルタイム測定法」や遺伝子技術を応用した先進の微生物の分析・評価方法が話題となっています。本技術により、医薬品などの製造現場、品質保証部門、研究部門における検査時間の大幅短縮や精度向上が期待されています。本講演会では、本技術に関連した分析・評価法の概要、実施例および今後の課題などを、微生物測定分野の専門家と国内で関連機器を提供されている企業の方にご講演頂きます。

主催: (一社)室内環境学会

日時: 2019年2月22日(金) 13:00~17:00

場所: フーハ大阪セミナールーム(大阪)

参加費: 会員 5000 円、非会員 8000 円(テキスト代込、当日お払い下さい)、学生 1000 円

事前登録: 要、メール(info@siej.org)またはファックス(03-5625-4299)でお申込下さい。

問合せ先: 室内環境学会 E-mail: info@siej.org , TEL: 03-5600-4871

時間	タイトル	講演者(所属)
13:00-13:10	趣旨説明	山口 一 (大同大学、工学部、教授)
	基調講演	
13:10-13:55	環境微生物の分析・評価法の過去、現在、未来	石松 維世 (産業医科大学、産業保健学部、作業環境計測制御学、准教授)
	一般講演 (I)	司会:小沢 智 (ダイキン工業株)
13:55-14:20	イルミナ次世代シーケンサーの解析原理と、環境調査に使用される主なアプリケーション	小林孝史 (イルミナ株、テクニカルセールススペシャリスト、営業本部技術営業部)
14:20-14:45	遺伝子解析による微生物推定と菌叢解析	梅田直 (タカラバイオ株、営業部、課長補佐)
14:45-15:00	休憩	
	一般講演 (II)	司会:山岸 弘 (ライオン株)
15:00-15:25	グレードA環境におけるリアルタイム浮遊菌測定	結城貴之 (シャープライフサイエンス株、事業開発統轄部、商品企画部、課長)
15:25-15:50	レーザー励起蛍光法によるリアルタイム浮遊菌計数器と適用事例	川越信幸 (ニッタ株、クリーンエンジニアリング事業部、技術部)
15:50-16:15	質量分析装置 MALDI-TOF MS を用いた簡易迅速微生物同定	関口幸恵 (ビオメュー・ジャパン株、産業事業本部、マーケティング部、マネージャー)
16:15-16:40	気相フローサイトメーターを用いた、大気中ウイルスのモニタリング装置の開発	田村明威 (東京エレクトロン株、革新技術企画室、エキスパート)
16:40-16:55	質疑応答*	
16:55-17:00	総括	石松 維世 (前出)

*各講演には全体の質疑応答とは別に、5分間の質疑応答時間をとっております。

尚、講演後、希望者にはフーハ施設の見学を予定しています(開館時間は 19:00 までです)。

以上